



高田屋顕彰館・歴史文化資料館

Takataya Kachi Memorial Museum [菜の花ホール]

[公園](#) > [高田屋顕彰館Top](#) > 高田屋顕彰館 利用案内

利用案内

嘉兵衛物語

収蔵品

かわらばん

かへえkids

ミュージアムショップ

過去の展示

Other Languages

所在地・連絡先

開館時間

休館日

入館料

駐車場

交通アクセス

施設備品

旅行代理店の方へ

■所在地・連絡先

〒656-1301 兵庫県洲本市五色町都志1087

高田屋嘉兵衛公園内

TEL 0799-33-0354 FAX 0799-33-1605

E-Mail: nanohana@takataya.jp



■開館時間

10:00 - 17:00

■休館日

火曜日（休日の場合、翌平日）

1月下旬に火、水、木の3日間、及び6月第2週木曜日に公園全体の休園日があります。

休館時は、ホームページ等でご案内致します。 [開館カレンダー](#)

団体での旅行日をご検討中のお客様に

詳しくはお問合せください。開館対応させていただくケースがございます。

TEL 0799-33-0354

■入館料

	個人	団体
大人	500円	400円
大学・高校生	300円	200円
中学・小学生	200円	100円

※団体料金は15名様以上

※障がい者手帳提示で、ご本人様のみが半額になります。

■駐車場

高田屋嘉兵衛公園内 無料(普通車約150台収容)

■交通アクセス

お車をご利用のお客様

[ハイウェイナビ](#)

[公園の「交通案内」をご参照下さい](#)

[公園近郊地図 \(PDF\)](#)

バスをご利用のお客様

[淡路島発着 バス検索アプリ「busmo」](#)

[神姫バス三宮バスターミナル所在地 \(JR三宮構内図\)](#)

■施設について

- ・300インチハイビジョン映像室
- ・車椅子2台
- ・身障者用トイレ
- ・おむつシート
- ・昇降機（椅子型一人乗りエレベータ）



高田屋顕彰館・歴史文化資料館

Takataya Kachi Memorial Museum [菜の花ホール]

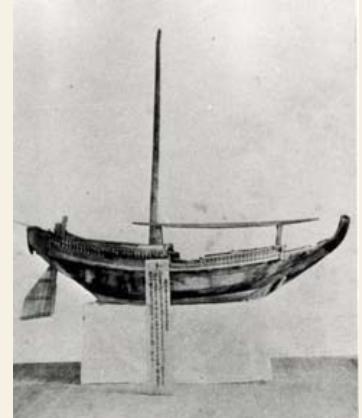
[公園](#) > [高田屋顕彰館Top](#) > 嘉兵衛物語

[利用案内](#) [嘉兵衛物語](#) [収蔵品](#) [かわらばん](#) [かへえkids](#) [ミュージアムショップ](#) [過去の展示](#) [Other Languages](#)



1769（明和6）年1月1日（旧暦）、高田屋嘉兵衛は淡路島都志本村（つしほんむら）（現・洲本市五色町都志）に6人兄弟の長男として生まれました。幼い頃から海に親しみ船を愛した嘉兵衛には、少年時代、近くの川に玩具の船を浮かべながら、潮の満干を調べて大人達を驚かせたといった逸話がいまも語り継がれています。22歳で兵庫（現・神戸市兵庫区）に出た嘉兵衛は、大坂（大阪）と江戸の間を航海する樽廻船（たるかいせん）の水主（かこ）となり、船乗りとしてのスタートを切りました。

やがて優秀な船乗りとなった嘉兵衛は兄弟たちと「高田屋」を立ち上げ、日本海の湊（みなと）を結びながら大坂と蝦夷地（北海道）を行き交う廻船問屋として活躍します。28歳で当時国内最大級の千五百石積の船「辰悦丸（しんえつまる）」を建造し、まだ寂しい漁村にすぎなかった箱館（函館）を商売の拠点としました。



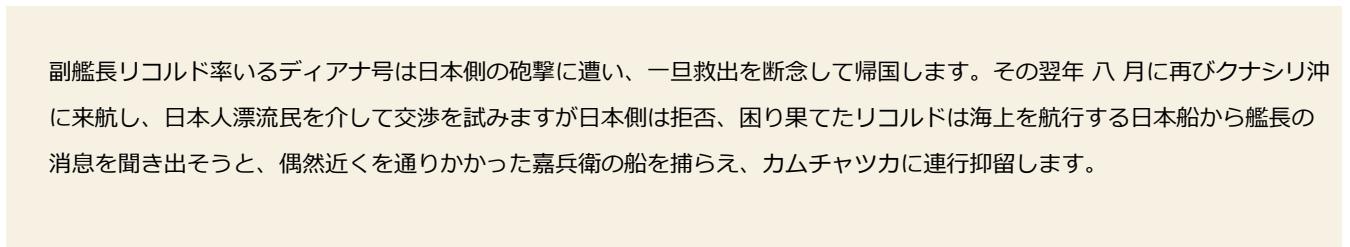
その頃世界では、大航海時代を経て、新たな交流の時代を迎えていました。ロシア人を日本へ向かわせた理由のひとつが、ラッコなどの毛皮です。その商業的価値から「柔らかい金」ともよばれたこの毛皮を求めて、18世紀初頃にはロシアの毛皮商人たちの千島列島の南下がはじまりました。かれらの活動が盛んになるにつれ、物資補給地、交易地としての日本との関係構築が喫緊の課題となりました。一方、ロシア人がエトロフ島やウルップ島辺りに渡来し、アイヌと交易するような状態を危惧した幕府は、国防対策を急ぎます。嘉兵衛は幕府の要請を受けて、エトロフ島とクナシリ島間の安全な航路を発見したり新たな漁場を開くなど、北方の開拓者としても功績を残しました。



1804年9月〔和暦〕、ロシア使節レザノフが長崎に来航し、幕府に通商を求めましたが、幕府はその要求を拒否します。レザノフは武力行使で日本側に通商を認めさせようと、本国の許可も得ず、部下のフヴォストフらに命じてサハリンやエトロフ島の日本人居住地を襲撃させました（文化露寇：フヴォストフ事件）。この攻撃で日本側は驚愕し、東北諸藩の兵を動員して厳戒態勢を取ります。



日露間の緊張が高まる中、1811（文化8）年6月、海軍省の命令を受けて千島海域の地理を調査中であったロシア皇帝艦ディアナ号のゴロヴニン艦長が、クナシリ島で水・食料の補給を得ようと上陸した途端、日本側警備隊に拿捕されるという事件がおこりました。





囚われの嘉兵衛とリコルドは同じ部屋で寝起きし、「一冬中に二人だけの言葉をつくって」交渉、嘉兵衛はリコルドに、一連の蛮行事件はロシア政府が許可も関知もしていないという政府高官名義の証明書を日本側に提出するようにと説得、その言葉を聞き入れたリコルドは嘉兵衛と共に日本に戻り、嘉兵衛を両国の仲介役として、遂にゴロヴニン釈放にいたる和解を成し遂げました。

晩年は、故郷淡路島にもどり、港や道路の修築など、郷土のために力を尽くし、1827（文政10）年、自宅で静かにその生涯を閉じました。



21世紀を迎えた地球上では、いまだに民族間の衝突や紛争が絶えません。他者を思いやる「寛容」や「共生」という崇高な理念が叫ばれますか、国家間の頑迷な利害や憎悪といった負の連鎖の前で、私たち人類は本当にそうした高みに立つことができるのか、その困難に心が折れそうにさえなります。高田屋外交という嘉兵衛の事績がいまなおその輝きを失わないのは、そのような絶望の淵にあっても、人間はわかり合える、互いを信頼するに値する生命体であるという勇気を私たちに与えてくれるからではないでしょうか。リコルドはその著書の中で、嘉兵衛を次のように称えています。「日本にはあらゆる意味で人間という崇高な名で呼ぶに相応しい人物がいる」



■ 北淡震災記念公園へのアクセス



交通
アクセス

JTB本四高速 神戸淡路鳴門自動車道 北淡ICより車で10分
" " 淡路ICより車で20分
淡路ジエバイン(岩屋航路・明石発) 岩屋港よりタクシーで20分
岩屋港よりあわ神・あわ姫バスで約20分 北淡震災記念公園下車

宿泊地よりの
所要時間

(道路事情等ご考慮ください。トイレ休憩含まず)
神戸・三宮地区(高速道路利用、北淡IC経由) 車で50分
有馬温泉(高速道路利用、北淡IC経由) 車で45分
洲本温泉(国道、県道経由) 車で55分
南淡路・福良(高速道路利用、北淡IC経由) 車で50分
四国・鳴門公園(高速道路利用、北淡IC経由) 車で60分
徳島市内(国道11号線、高速道路利用、北淡IC経由) 車で80分

医療機関・所轄官庁

病院
診療所

- 北淡診療所(内科) (車で15分) TEL.0799-84-0079
- 大橋医院(内科) (車で15分) TEL.0799-84-0066
- 中田医院(内科) (車で5分) TEL.0799-82-2399
- 東浦平成病院(総合) (車で15分) TEL.0799-74-0503

警察・消防
保健所

- 兵庫県警淡路警察署 〒656-2401 淡路市岩屋2942-24 TEL.0799-72-0110
- 淡路広域消防 北淡出張所 〒656-1602 淡路市育波478-2 TEL.0799-84-0119
- 兵庫県洲本保健所 〒656-0021 洲本市塩屋2-4-5 TEL.0799-26-2062

※いずれも健康保険証のコピーでの扱いは致しません。

国指定 天然記念物 野島断層

北淡震災記念公園

ご見学・ご利用のご案内



まくんが伝えたいこと



北淡震災記念公園オリジナル紙芝居
「阪神淡路大震災まくんが伝えたいこと」
主人公:まくん

〒656-1736 兵庫県淡路市小倉177番地
TEL.0799-82-3020 FAX.0799-82-3027

野島断層 保存館



兵庫県南部地震で出現した野島断層。野島断層保存館では断層をありのままに保存し、地震の凄まじさと驚異を感じいただき、地震に備えることの大切さを伝えます。



エントランスホール

入館受付やトイレ、国道43号が倒壊した様子の再現模型、震災当時の写真パネル、活断層の地図があります。(車イス、ベビーカーの貸し出しあります。)



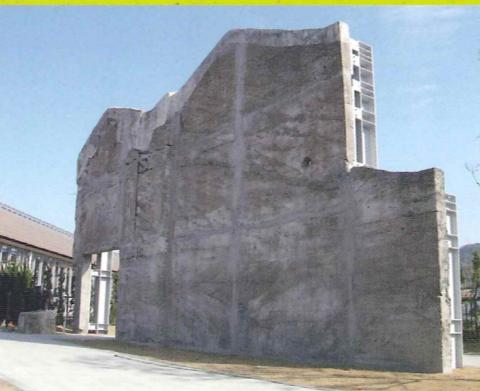
断層保存ゾーン 広さ:422m²

断層による様々な地形の変化をパネル、案内係の解説で詳しく観察できます。断層の断面が見られるトレチ展示や触れる断層もあります。



神戸の壁

第二次世界大戦の神戸大空襲に耐え、阪神・淡路大震災では、地震と火災に耐えた神戸市長田区若松町の公設市場の防火壁です。野島断層と共に震災を語り継ぎます。



メモリアルハウス

活断層の真横でもほとんど壊れなかった家を「地震に強い家」として公開しました。家の塀や花壇の煉瓦がずれた様子、当時の台所も再現しています。



活断層ラボ

活断層や過去の地震、津波についての展示、液状化の実験など地震について学べる施設です。



VR地震体験

~阪神・淡路大震災の記憶をつなぎ、地震発生に備える~



ミニシアター

開館時間 9:00～17:00

※12月下旬に約1週間の臨時休館があります。

見学料金表	個人	団体	障害／介添え
大人	730円	660円	360円
中学・高校生	310円	280円	150円
小学生	260円	230円	120円

※団体割引は大人・中高生・小学生の合計人数が30名様以上です。

震災体験館



震災当時の写真や映像、防災用品の展示があります。

VRを使った揺れ体験ができます。

※12歳以下はVR無しで、モニターを見ての体験です。

※6歳以下は体験できません。

※混雑時は体験ができない場合がございます。

セミナー ハウス



セミナールーム



震災の語りべの講話やビデオ上映など震災学習にご利用いただけます。また、会議・研修会・講演会など各種会合にもご利用ください。



セミナーハウス使用料金	セミナールーム1	セミナールーム2	セミナールーム1・2	会議室
使用料(1時間)	1,100円	1,100円	2,200円	1,100円
収容人員	～90名	～90名	最大200名	～60名

(使用内容により料金が変わります。お問い合わせください。)

震災の語りべ

平成7年1月17日5時46分兵庫県南部地震が起きました。マグニチュード7.3、最大震度7を記録する大地震でした。死者6434名、全半壊家屋約25万棟、被害総額約10兆円を出したこの地震による災害は阪神淡路大震災と名付けられました。当時の北淡町（現淡路市）は人口約11000人、世帯数約3700世帯でした。北淡町では死者39名、全半壊家屋約2300棟という大きな被害が出ましたが、地域住民や消防団員の協力で多くの命を救うことができました。

「震災の語りべ」の方々は、被災体験をした元学校教員、社会福祉協議会職員、消防職員、消防団員や一般の人たちです。大震災の教訓を無駄にせず、後世に活かすために、様々な立場での被災体験を元にそれぞれの語り口で、当時の様子、今後の備えや心構えなどを語ります。



セミナーハウスでの語りべ

修学旅行、校外学習や防災研修で語りべの話を聞きたいという場合は、セミナーハウスで聞いていただくことができます。

30分～1時間の間に行程に合わせて資料や映像を使ってわかりやすく当時の様子や体験談を語ります。

費用:5,000円 + セミナールーム代(P.2参照)

「震災の語りべ」の園外派遣

学校の防災集会や防災イベント、宿泊先の旅館やホテル、地域の防災研修会や防災イベントに「震災の語りべ」の派遣を行っています。

派遣費用は事務局へお問い合わせください。
0799-82-3020



お 客様の「当時の話が聞きたい」「地震に備えて何をしたらいいの?」という声に応え、平成11年から「震災の語りべ」の活動を始めました。また、震災当時全国からいただいたあたたかい援助の恩返しは、今後起こりうる大地震や、自然災害の時に少しでも被害を減らすために震災を語り継ぐことです。

セ ミナーハウスでは4000以上の団体にお話を聞いていただき、多くの学校から感想文や御礼状を頂きました。

阪神淡路大震災についての体験談などを聞いて、自然災害の恐ろしさや、人間の命の尊さ、そして何より今生きていることの喜びを感じました。一人一人に一つづつしかない命を大切にしようと改めて思いました。

語りべさんのお話は、私達にとって考えさせられる内容ばかりでした。特に印象に残っているのは、一人暮らしの息子さんの安全が確認出来た時、涙を流して喜んだという話です。

普段何気なく一緒に生活している【家族】という存在が、どれ程大切な存在であるかを感じました。私達に貴重なお話を聞いていただき本当にありがとうございました。

大阪府 中学2年生



1995年の1月17日に起きた阪神淡路大震災だけど、すでに自分が生まれていたこの時に、同じ日本でこんなにも大きな地震が発生して、多くの被害を受けていたという事を改めて考えると、自然の驚異を強く感じた。

新潟の大地震が発生した時、東京でも震度3～4の地震があったと思う。あの時も、それまでめったに感じることのない大きめの揺れに、一瞬気持ちが焦った。それなのに、阪神淡路大震災ではその震度4クラスの余震が起こり続けていたと聞いて、自分にはその恐怖を想像することが出来なかった。違う地域でまた大きな地震が発生したら、まずはどんな救援をするべきなのか具体的に学ぶ事が出来た。

救援物資は安全確保のためにも厚手の衣類を選ぶこと、早く物資の仕分けが出来るように食材のダンボール、衣類のダンボールなど種類別に分けることなど。又、地震が起こる前にやっておくべき備えとして最も心に残ったのは、地域・近所コミュニティの強化だった。東京の、特に都会の方ではまずないことだと思う。自分も隣近所にどんな家族構成か、まして名前すら知らない。まだまだ地震等の災害対策が自分には出来ていないと痛感した。

東京都 高校2年生



先日は修学旅行でお世話になり、ありがとうございました。実際に体験されたお話を聞けて、とても勉強になりました。10kmも地面が割れたと知ってとてもおどろき、同時にこわくになりました。でも、語りべさんから地震の時、何がどのように役立つか教えてもらい、少し安心しました。

その新しく増えた知識で、家族や近所の人達を守れるようになれたらと思います。本当に貴重なお話をありがとうございました。

滋賀県 小学6年生

事前学習用動画をYouTubeでご覧いただけます

北淡震災記念公園 事前学習用動画

あの日から学びたい
5部構成の学習用動画
<https://youtu.be/uuC0Ob4np9s>



震災を乗り越えて
震災全体の記録動画
<https://youtu.be/3Wf3xGFepNU>



千羽鶴の奉納について

千羽鶴の奉納はべっちゃんロック前にある慰霊碑にお願いします。
後で野島断層保存館内で展示いたします。

雨天時・荒天時は野島断層保存館やセミナーハウスの語りべ終了後に受け取りいたします。

※お願い

千羽鶴の長さは1.5m以内でお願いいたします。長すぎると展示ができなくなります。
吊り下げるタイプ以外(額に入れたものや画用紙に貼り付けたもの等)は奉納後に館内
で展示ができませんのでご了承ください。



野島断層保存館 見学の流れ

1995年1月17日、それは忘ることが出来ない日、そして忘れてはならない日。阪神・淡路大震災により、かつて無い大きな被害を受けると共に、改めて「命の尊さ」や「絆の大切さ」を思い知ることとなりました。今、日本列島は、地震の活動期に入り、いつ、どこでも地震が起きる可能性があります。

北淡震災記念公園では、阪神・淡路大震災を伝えるだけではなく、震災の教訓を防災・減災に役立てる様々な活動に取り組んでいます。

震災を風化させない 震災の語りべ（約30分～60分）

実際に被災者の体験や震災の復興の様子を生の声で聞き、肌で感じることは、展示や映像を見るだけでは得られない貴重な経験です。（※要予約・要費用）

語りべ
元教師 元行政職員
元地元消防団員
元民生委員など
現在20名登録

希望に沿った講話が聴けます

会場：セミナーhaus

“自分の命は自分で守る”

災害が起きた時、私たちはとにかく生き延びなければなりません。そのときに備え、どこまで真剣に準備をしておけば自分が自分と家族の生死を分けるのです。過去の体験から、自分と周りの人の命をいかに守るかを学んでいただけます。

自然の脅威 野島断層を見学（約40分～50分）

兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）で出現した野島断層。野島断層保存館では断層をありのまま保存。

地震の凄まじさと脅威を感じ、地震に備えることの大切さを学べます。

エントランスホール
国道43号線が倒壊した様子の再現模型、震災当時の写真パネル、活断層地図を展示しています。

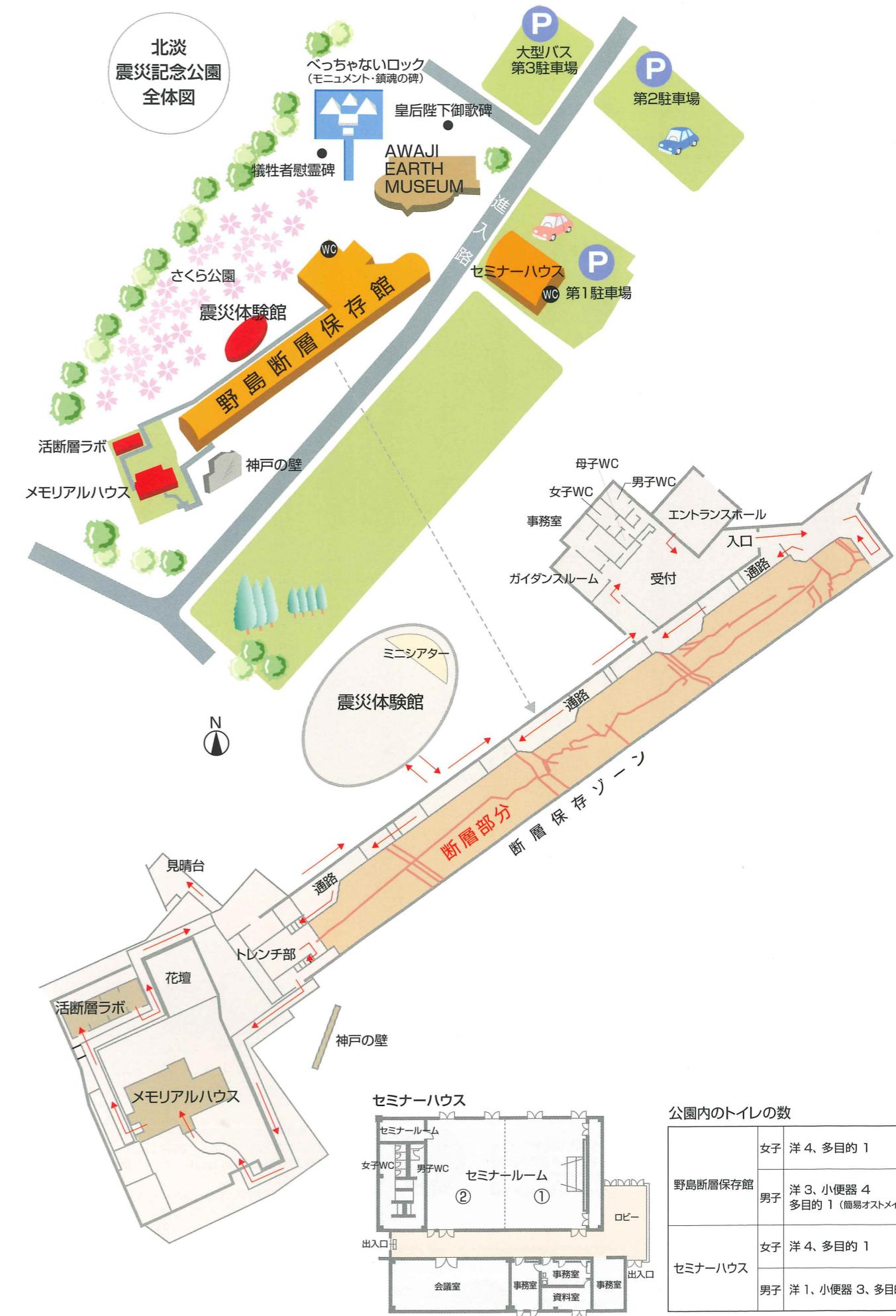
トレンチ
断層の断面と地下の様子が観察できます。

道路の破壊

震災体験館
揺れ体験や記録映像から地震の怖さを感じ、地震への備えを考えさせてくれます。

台所の様子を再現

メモリアルハウス
活断層の真横に建っていましたが、ほとんど壊れなかつた家を「地震に強い家」として公開しました。当時の台所の様子を再現しています。



※トイレの数が限られているため、大人数の団体様は事前にサービスエリア等へお立ち寄りの上、ご来園いただけますようお願いいたします。